

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年3月26日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670200551
法人名	有限会社 ゆずの智
事業所名	グループホーム お多麻さんの家
所在地	鹿児島県薩摩川内市寄田町885番地1 (電話) 0996-31-3722
自己評価作成日	平成24年2月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成24年3月23日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

健康は食から、と理念にもありますように、利用者が毎日食事をおいしく召し上がり、元気に過ごされることにより、職員も楽しく介助することで入所者が安心して暮らすことができ、又良い人間関係を築くことでのぼのとした暖かさを感じ、心の健康も保つことができると考え実施しています。

ご家族から入所者の自由を尊重して、安心して暮らせる所であると信頼され、又地域の方々と交流ができる施設を目指します。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・ホームを災害時の避難場所へしてほしいとの地域住民からの要望や介護に関する相談が多く、地域から頼りにされている。自治会の一員として地域行事に参加し、近所の住民が手作り野菜などを持参したり、子供達が立ち寄ったりして、地域との繋がりを大切にしている。
- ・「笑顔のある毎日」をテーマに、日々取り組んでおり、行事の写真をにぎやかに壁に貼ったり、家族が面会に来た時など、気にいった写真があれば気軽に持ち帰られるようにしている。
- ・生活を重視した食事の工夫をするとともに、天気のよい日はベランダにテーブルを出して、皆で楽しく食事をするなどの取組がなされている。
- ・居室は個性的に馴染みのものを配置して、快適に安心した生活を送っている。
- ・ターミナルケアについては、24時間体制で家族や医師・看護師等と連携して、職員全員で手厚くケアしている。寝たきりの状況の中でも、部屋の入り口は、日中開放され、利用者や職員の声などが聞こえ、家族の一員としての暖かい心使いがされている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	会議等で理念を確認して、理念はホール・事務所に掲示して日々の介護業務に取り組んでいる。	地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を作成し、玄関や事務室に掲示している。さらに職員で理念を掘り下げて、具体的なケアについて話し合っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事、自治会の総会に出席、ホームの啓発を図り、地域との馴染みの関係を作っている。	自治会に加入し、地域行事や公民館活動などに積極的に参加している。学校の運動会に招待されたり、地域住民からの介護相談にも対処するなど、交流が行われている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の老人会等に出向いたり施設の行事に案内して、運営内容や現状を紹介している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ホームの運営状況や入所者の日々の暮らしづくり、地域行事の情報、声を聞くことや認知症についての状況を伝える場としている。	会議は定期的に開催され、事業所の情況や外部評価を報告している。会議で出された意見や提案を取り入れながら、サービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	日頃から連携を密にして情報収集に努め、施設運営、サービス向上に取り組んでいる。	市担当者とは、グループホーム協議会などを通して協力関係ができている。認定更新の機会等に、見直しの相談や情報交換をしてアドバイスをもらっている。さらに、生活保護の担当者とは、細かに連携を図っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	「家に帰る」と園外に出る入所者に「行ってらっしゃい」と見送り、さりげなく様子を見て安全に配慮し、日中は鍵をかけないケアを実施している。	マニュアルを作成し、それを基に職員会議で話し合い、外部研修にも積極的に参加し、理解を深めている。職員は、身体拘束をしないケアを実践している。昼間は玄関の施錠はせずに、職員の細やかな配慮で自由な暮らしを支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	資料収集を行い、定例、随時会議で理解を深め、防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修会に出席して関係資料の収集を行い、定例会議等で理解を深めるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入所する際の契約で、ご家族の不安や理解、納得が得られるよう十分な説明に努めている。			
10 6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関に意見箱の設置と記録簿を作成して、職員会議を持って改善、対応を検討して運営に反映させている。	利用者や家族へ、日頃から、何でも言ってもらえる雰囲気作りに留意している。家族会や面会の時が、要望や意見を把握するよい機会と捉えている。出された意見や要望等は、職員で話し合い運営に反映させている。意見箱も設置している。		
11 7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月1回の定例会（お多麻会議）において、意見や提案のある話し合いをしている。	管理者は、会議等で職員の意見や提案を聞く機会を設け、提案や意見が出しやすい雰囲気を作っている。出された意見や要望等は、職員会議で話し合い、反映させている。		
12	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働くよう職場環境・条件の整備に努めている。	家庭の事情や技術向上研修を十分に考慮して、勤務体制を作り楽しく働ける職場環境の整備に努めている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	公的な機関が実施する技能、資格研修に積極的に参加させてい る、又キャリア形成訪問指導事業を利用した自社研修をしてい る。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交 流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じ て、サービスの質を向上させていく取り 組みをしている</p>	グループホーム連絡協議会の会 員になりネットワーク勉強会と活 動を通じて、サービスの質の向 上に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人に困っていることはありませんか、心配なこと何ですかと聞き取りを行い、本人にとつて安心できる関係づくりをしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族に今困っていること、今後の生活の不安や本人の生活についての希望、要望を聞き取っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人の今の生活を安定させ、家族の不安を軽減するよう施設での生活費用、医療等しっかり説明している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は、入所者と一緒に食事、お茶、対話をして、仲間に入りやすい環境をつくっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員は、家族に入所者の生活状況を伝え又家族の思いや意見を聞き、本人の思いを共有できるようにしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	可能な限り馴染みの方との交流ができるよう家族に伝えている、馴染みの場として床屋、医院を利用している。	地域で暮らしていた頃の馴染みの理・美容院を利用している。また、電話や手紙などで、身内の人や知人との関係を継続できるよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	食事やお茶のときに話に入れるように職員は心がけている、又入所者同士の関係を見極め手仕事を用意している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	主に病院への入院の型で終了しているので、病状経過を家族の来所、連絡時にお話を伺っている、又心配事に耳を傾けている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>本人の希望や思いを話される方からは、話を共感を持って聞き、語れない方は、本人の気持ちの良い状態を保てるよう援助している。</p>	<p>日々の関わりの中で様子を観察し、言葉や表情などから思いや意向の把握に努めている。家族や関係者からの情報も得るよう努めている。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>本人及び家族からこれまでの暮らし方、生活環境を聞き取り以前のサービス利用や入所経過を可能な範囲で聞き取っている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>職員が見て心身の状態に変化があればすぐ検討して、1日の過ごし方、能力等の変化は職員間で情報を共有している。</p>		
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>本人からは普段、家族からの思い、意向は面会時に聞き、主治医からは健康やケアの指導を受け、総合してモニタリングとし現状に即した介護計画を立てている。</p>	<p>本人や家族・その他必要な関係者と話し合い、担当者を中心に介護計画を作成している。3ヶ月毎にモニタリングを実施し、見直しを行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日報、介護評価、介護経過記録を記入し、申送り帳、朝会録で情報の共有をして、実践し介護計画にも活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	家族の状況により、布団、衣類の購入等柔軟に支援している、又専門病院への受診も支援している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域での夏祭り、文化祭等の行事に参加したり、児童を施設に招き交流の場を作っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけの医院とは随時連絡して受診しながら、月2回の訪問診療の医師により定期受診を行っている。	受診は原則として、本人や家族が希望するかかりつけ医となっている。専門医の受診が必要な場合はかかりつけ医から紹介状をもらい、適切な医療が受けられるよう支援している。月2回、定期訪問診療も受けている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとられた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	看護職員はいないが、緊急対応の必要があるときは、訪問診療医師と連携を取り指示を受け、必要なケアを行っている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	平素の医、薬の情報、施設での生活状態を医院に提示し、訪問診療医師から情報を提供している、退院時は情報を貰いケア計画に活かしている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	主治医から重度化している状況を家族へ説明をし、管理者から隨時に現状、変化を家族に報告している、	終末期や重度化に伴う対応の指針がある。それに基づいて、家族に説明し同意書をもらっている。職員全員がその方針を共有している。現在、看取りを必要とする利用者の支援にチームで取組んでいる。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	急変の対応（身体・事故・火災）は、ホール等見やすい所に要領を備え、応急手当、初期対応できるように年3回避難訓練を実施している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年3回夜間想定で避難訓練を実施、避難経路の確保、火災報知機、スプリンクラーを設置、地域との連携と職員の実践力を身に付けさせている。	年2回、夜間を想定した避難訓練を消防署の指導のもと実施している。近隣の事業所職員や地域住民の協力体制もできている。地震時の避難場所も近くのコミュニケーションセンターが確保されている。備蓄もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入所者には丁寧な言葉使いをして、誇りやプライバシーを損なわないケアの場を工夫している。	日々のケアの中で、利用者の尊厳とプライバシーに配慮しながら、さりげないケアや言葉かけに努めている。職員の採用時に、個人情報保護についての誓約書もとっている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入所者が希望をはっきり表現できるように、話かけをしたり自己決定が正しく出来るよう言葉かけをしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	健康状態を考慮しながら、入所者のペースを大切にしている、又生活リズムを大切にしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	清潔な身だしなみに気をつけ、それぞれのこだわりのおしゃれもしていただいている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの楽しみや好きな食物や料理を職員が知り、食事つくりに活かしている、入所者ができる野菜の下ごしらえ、茶碗洗い等している。	利用者の希望を聞いて献立を作っている。可能な範囲で、配膳や後片付け等を利用者と職員が一緒に行っている。時折、中庭での食事や外食などを楽しむ機会も作っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスは3食とも偏らない家庭的な料理を提供し、食べる量は個別に対応、やわらかい調理に心がけ水分量は記録し不足しないようにしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後に歯磨きの声かけをし、自力でできる方は自分で、できない方は介助して行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄のパターンを職員で共有して、タイミングをつかんでトイレに誘導している。	トイレ誘導は自尊心に配慮した声かけを行い、トイレでの排泄を大切にしている。記録表やチェック表等を活用し、トイレで排泄できる自立支援をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便記録を可能な限り記録して便秘を起こした時は、早急に把握できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週3回の入浴を計画して、希望の時間に入浴し、随時便汚染で汚れたときなどは、その都度シャワー浴をしている。	入浴は、基本的には週3回。男性と女性の日を分け、個々人の希望に沿った入浴ができるよう支援している。シャワー浴も活用している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の希望に添って休憩させ、夜間も静かな環境で眠れるようにしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の内容の理解は困難であるので、職員が服薬時間、量、回数は援助している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの生活歴を勘案しているが、性格や好みに合った役割や楽しみを持っていただくようしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	随時の外出希望には応えられないが、気分転換に買い物に同行したりしている、季節では食事や花見に外出している。	日常的には、散歩や日光浴を行っている。さらに利用者の希望に合わせて、買い物やドライブなど外出の機会を作っている。また、家族の協力をもらって、外出や旅行に出かけることもある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の所持は、行っていない。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	電話は自由にできるようにし介助している、手紙は受け取り読み聞かせしている、出せる者はいない。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感の花飾り等を配慮したり、静かな環境を保つ工夫をしている。	玄関には季節の花を飾り、壁面には行事や外出時の写真が貼付してある。全体的に木製が多く温かい雰囲気である。フロアは広々としてソファーがあちこちに設置してあり、居心地よく過ごせるよう配慮してある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用ホールにはテレビ、本、新聞を置き、自由に心安らかに過ごせるよう工夫している。			
54 20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	希望を言える者は希望に添って好みのものや使い慣れたものをベッドサイド等に置いて心地よく過ごせ利用工夫している。	ベッドやタンス等は備え付けになっている。その他、馴染みの物を持ち込み、居心地よく暮らせるように配慮されている。		
55	○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	「できること・わからないこと」に合わせて、場所がわかるように「名前」や「トイレ」に表示している。			

V アウトカム項目

		<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者の
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目 : 23, 24, 25)	<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいの
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいの
		<input type="radio"/>	4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目 : 18, 38)	<input type="radio"/>	1 毎日ある
		<input type="radio"/>	2 数日に1回程度ある
		<input type="radio"/>	3 たまにある
		<input type="radio"/>	4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目 : 38)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目 : 36, 37)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない

			1 ほぼ全ての利用者が
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目 : 49)		2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目 : 30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目 : 28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目 : 9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

			1 ほぼ毎日のように
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目 : 9, 10, 19)	○	2 数日に 1 回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目 : 4)	○	1 大いに増えている
			2 少しづつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目 : 11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない